

海洋資源環境学分野

白木原國雄 教授: <http://web.me.com/kshirak/>
 小松幸生 准教授: <http://lmr.ori.u-tokyo.ac.jp/feog/FODjap.html>

こんな問題に取り組んでいます

海洋生物の中にはマイワシのように個体数が大きく変動する種が少なくありません。そのような大変動がなぜ起こるのか、海洋生物資源を持続的に利用するためにはどのような管理が必要か、などの問題に取り組んでいます。

主な研究テーマ

- 海洋生物資源の持続的利用に向けた管理手法の開発
- 温暖化等の環境変動が海洋生物資源に与える影響の解明
- スナメリ等の沿岸性鯨類に与える人為的影響の解明
- 海洋生態系の変動要因の解明と将来予測手法の開発

研究の成果はこんな分野に活かされます

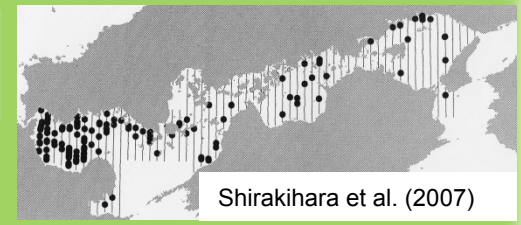
海洋生物資源の持続的利用や生物多様性の保全に向けて重要かつ有効な知見と手法を提供します。

関連展示: 研究内容等の展示 (大気海洋研究所1階ロビー)
連絡先: 東京大学大学院新領域創成科学研究科 自然環境学専攻
 海洋資源環境学分野
 小松 幸生 <kosei@aori.u-tokyo.ac.jp>

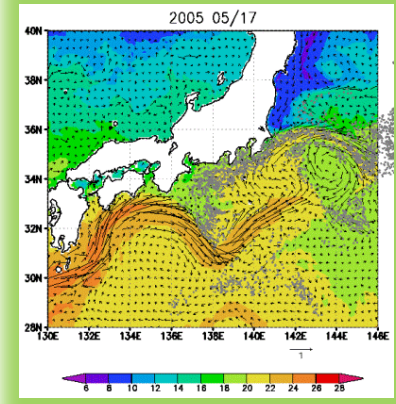


スナメリ。大きさは人間程度で、日本周辺では最小のイルカ

瀬戸内海における調査ラインとスナメリの群れの発見位置 (2000年)



Shirakihara et al. (2007)



高精度数値シミュレーションによるマイワシ仔稚魚の輸送・生残過程の追跡実験



最先端の観測機器による海洋環境観測